

着たままがラク!“イエナカのお供”に ルームウェアと兼用できるエプロンが好調です

◆新宿店 6階 タオル・エプロン・寝具売場

京王百貨店（本社：東京都新宿区、社長：駒田一郎）新宿店 6階エプロン売場では、エプロン・割烹着の売上が好調です。同売場は、従来の前掛けタイプのエプロン・割烹着から“近所への買い物”にそのまま着られるものまで、都内百貨店でも最大級の約 200 型のエプロンがそろいます。イエナカ時間の増加により、家で料理や掃除をする機会が増えたことに加え、気温が下がり始めた 10 月以降にはルームウェア代わりに防寒対策として着用する需要もあり、約 10%増と伸ばしています（集計期間:10月1日～11月15日）。

■エプロンとしてもルームウェアとしても OK！「かぶりタイプ」のエプロンが増えています

後ろで紐を結ぶ従来型のエプロンに加えて、新定番になりつつある「かぶりタイプ」のエプロン。近所への買い物やゴミ出し等にそのまま出かけられ、部屋着としても兼用できることから人気が高まっています。「洋服で取り入れるのには勇気がいるけれど、エプロンなら」と、猫などの動物をあしらった柄や明るい色使いのデザインが選ばれています。

（写真左）①アソコマタノ「フリースエプロン」 6,050 円

②アソコマタノ「ジャガードエプロン」 6,600 円

（写真右）ハウスウェアスタジオ「チェック柄エプロン」 5,500 円



■“レトロ可愛い”割烹着が、若い世代にも人気です

“昔ながら”のイメージが強い割烹着ですが、「よだれや食べこぼしを気にせず赤ちゃんを抱っこできる」と、小さな子どもを持つママ世代にも支持されるアイテム。コロナ禍では、こまめに洗濯しやすい部屋着・作業着としても人気です。無地のほか、リバティ生地を使用したものや北欧風の柄など色鮮やかなデザインが豊富にそろいます。

（写真左）リッシー「リバティプリント割烹着」 7,150 円

（写真右）リッシー「前ボタン式 割烹着」 7,150 円



<番外編> “本格ルームウェア”にも注目！

イエナカ時間の増加で、快適さを追求する傾向が高まっているルームウェア。軽くて柔らかな肌触りに保温性・通気性といった機能性を備えたウチノ「マシュマロガーゼ」シリーズなど、着心地にこだわったアイテムは 1～2 万円前後の単価ながら注目を集めています。



ウチノ「マシュマロガーゼ ボタンあきワンピース」 12,100 円